

遊休不動産活用探る

郡山でセミナー

県は20日、郡山市のビッグパレットふくしまで第2回県リノベーションまちづくりセミナーを開き、参加者が空き家や空き店舗などの遊休不動産を活用したまちづくりについて考えた。

リノベーションまちづくりとは、建築物の性能を向上させるために遊休不動産

を再生し、産業振興、雇用創出などを図る取り組み。セミナーは昨年続き開かれ、市町村の担当者や民間企業から約130人が参加した。

リノベーション事業を展開するMYROOM（長野県）の倉石智典代表、商業施設などの再生を手掛けるブルースタジオ（東京都）の大島芳彦専務が、それぞれ講演。2人は、リノベーションの基本的な知識や地方都市での事業の進め方などを紹介した。



遊休不動産を活用したまちづくりについて考えたセミナー